

東京都医師会定例記者会見



後向き調査によるCOVID-19抗原定性検査（RAT） とPCR検査の一致率に関する検討結果（速報値）

都内36医療機関の共同後向き調査
（実施期間2021年3月～2022年2月・症例数 N=5,638）

2022年5月10日

公益社団法人 東京都医師会 理事
黒瀬 巖

RAT・PCR相関解析

①本研究と参考資料との比較



②被検者の年齢による比較



参考資料 (N=69)

: 新型コロナウイルス感染症病原体検査の指針 (第4.1版)

本研究 (N=5,638)

: 都内36医療機関の共同後向き調査 (2021年3月~2022年2月)

- 本研究における解析は、都内協力医療機関でCOVID-19に対するRATとPCR検査を同日に実施した症例についてアンケート調査した結果に基づく。
- “本研究における陰性一致率”は“「指針」に示された陰性一致率”より高いことから、従来から想定されているよりもRATの信頼性は高い（偽陰性は少ない）という可能性が示唆された。
- 被験者の年齢層による明らかな差異は認められず、全年齢層において十分信頼に足りる一致率を示した。

RAT・PCR相関解析

③ 自覚症状の有無による比較



④ ワクチン接種歴による比較



- “自覚症状のある群”よりも“自覚症状のない群”の方が、むしろ陰性一致率が高い傾向が認められた。ただし、“自覚症状のない群”のPCR陽性率は“自覚症状のある群”よりも顕著に低かった（約1/4）。
- 「ウイルス量が多い方が陰性一致率が高い」という論文報告を考え合わせると、「**自覚症状がないからと言ってウイルス量が少ない（感染力が低い）とは限らない**」という可能性が示唆された。
- “ワクチン接種歴がない群”の方が“2回以上接種した群”よりも陰性一致率が高いという結果は、**ワクチン接種によりウイルスの増殖が抑制された**状況を反映しているものと推測され、ワクチン接種の効果を支持すると考えられた。

RAT・PCR関連解析

自覚症状の発症日からみた一致率・症例数・PCR陽性率の経時的変化

	Day 0	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4~7
全体一致率	86.3%	89.2%	92.7%	94.1%	89.6%
陰性一致率	81.5%	84.8%	89.3%	92.4%	87.1%
陽性一致率	98.6%	98.1%	98.7%	97.8%	96.6%
症例数	1,048	2,581	614	290	337
PCR陽性率	40.9%	42.5%	42.7%	36.6%	34.7%

全対象データ	
全体一致率	89.9%
陰性一致率	86.5%
陽性一致率	98.1%
PCR陽性率	38.0%

(注) Day 0は発症日当日を意味する。

- 自覚症状発症日から2~3日目は陰性一致率が特に高い傾向があるが、少なくとも発症後1週間以内であれば“臨床的に十分高い一致率”が得られることが判明した。
- なお、大半の患者は発症後1~2日以内という比較的早い段階に、医療機関を受診し検査を受けている実態が明らかとなった。

RAT・PCR相関解析

抗原定性検査は、**迅速・簡便・安価**が利点であるとされているが、本調査研究から；

- **年齢**、
- **自覚症状**の有無、
- **ワクチン**接種歴、
- **自覚症状発症日**からの経過日数

などによらず、**臨床的に十分高い一致率**を得られることが示唆された。

「**抗原定性検査は医療機関での診療だけではなく、市中における自己検査でも有用であり、withコロナの間は様々な場面でより積極的に使用する事**」が推奨される。